

公益社団法人 日本交通計画協会

2023年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時 2023年8月28日（月）13時30分より14時40分まで

2. 開催場所 公益社団法人 日本交通計画協会
3階 B・C会議室（Web開催併用）
所在地：東京都文京区本郷3丁目23番1号
（Web会議は、Web会議システム「ZOOM」を使用）

3. 理事現在数 6名
監事現在数 1名

4. 出席理事数 6名（Web出席1名）
出席監事数 1名

（出席理事）谷口守、石川次男、岸井隆幸、川畑信之、飯塚義和、
石川雅康
（出席監事）曾田祐司

5. 開会

定刻に至り、事務局より開会が宣言され、2023年度第1回理事会はWeb会議システムを使用し開催するにあたり、出席者理事、監事、全員の音声及び映像が共有されていることを確認した。本日の理事会は定款第32条第1項による定数を満たしたので、有効に成立したことが報告された。

代表理事 谷口守は定款第31条により、本理事会の議長を務めることとなった。

6. 議事録署名人の選出

議事に先立ち、定款第34条第2項により議事録署名人は次の3名となった。

- ・代表理事 谷口守
- ・代表理事 石川次男
- ・監 事 曾田祐司

7. 議題

本日の議題は次のとおりであることを確認した。

承認事項

- 第1号議案 2022年度事業報告及び附属明細書の承認の件
- 第2号議案 2022年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認の件
- 第3号議案 理事及び監事選任候補者の承認の件
- 第4号議案 役員年報酬限度額総額案の承認の件

報告事項

- 報告第1号 職務執行報告
- 報告第2号 総合交通体系整備研究積立資金の運用実績

8. 議事の経過及び承認の結果

承認事項として以下の議案について、承認を諮った。

- 第1号議案 2022年度事業報告及び附属明細書の承認の件
- 第2号議案 2022年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認の件

議長は上記2議案につき一括して説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、第1号議案について、2022年度の事業報告と附属明細書の説明を行った。2022年度の社員異動状況、社員総会開催、理事会開催、刊行物等発行状況、講習会・シンポジウム等開催状況、海外調査研究事業、広報・研究成果発表関係、国際会議・催し物等開催協力状況、研究部会活動、自主研究活動、受託調査研究事業状況を説明し

なっ
た。続いて第2号議案について、2022年度の計算書類の主な項目と金額を説明し、事業収益が前年度より4千万円ほど増加しているものの、委託費等の経費の増加もあり、正味財産増減額としては、約1千4百万円ほどのマイナスとなった。前年度と比較すると大幅にマイナスを改善でき、現預金残高も増加しているため、業績は回復傾向にあることを説明した。また、公益法人の財務原則についても、公益目的事業比率、収支相償を満した旨を説明した。

また、2023年8月24日に曾田監事による業務監査及び会計監査を行い、監査の結果、特段の問題なしとの報告を曾田監事より受けた。

同議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(飯塚理事) 当期一般正味財産増減額がマイナス1千4百万円なのは新型コロナウイルス感染症の影響か。

表の
(石川業務執行理事) 事業に従事する職員の人員不足が構造的な問題としてあると考えている。元々人員不足気味のところで、退職者が2名あったこともあり、業務執行に必要な力量が賄えていない状況にある。また、30代後半から40代前半の年齢層が極端に少なく、部長クラスが課長クラスの業務も兼務している状況である。現在、研究員の獲得に力を入れているところである。

(石川代表理事) 新卒は順調だが育成に時間がかかるため、即戦力を求めている。同業の他のコンサルティング会社も常時募集をかけているが、人が集まらない状況だと聞いている。

(川畑理事) 働き方改革の推進に取り組んでいると思うが、残業時間はどのように変化したか。

(石川業務執行理事) 各月の残業時間は協定をクリアしている。繁忙期の3月は60時間ギリギリなこともあるが、今の時期だと30時間程度に収まっている。

(石川代表理事) 2022年度は協定の総残業時間内で業務を行うことができた。

川雅
吉と
崖、
海
崖協
月し
議長は両議案につき個別にこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、2022年度事業報告及び附属明細書の承認の件及び2022度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認の件を承認した。

第3号議案 理事及び監事選任候補者の承認の件

議長は上記1議案につき説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により役員選任候補者について以下のように説明した。現在就任中の理事及び監事全員が、来る2023年度定時社員総会の終結の時をもって任期満了となる。そのため今回の理事会では、総会に上程する候補者を選び、役員の選任は総会議決事項となる。理事会としては、岸井理事と飯塚理事が今期で退任、その他の理事4人全員が重任、3人の方が新任理事として就任を提案、そして監事は曾田監事が重任、1人の方が新任監事として就任することを提案する。上記3点を説明し審議を求めた。

同議案説明に関する質疑は、特に提起されなかった。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく、理事7名、監事2名の重任及び新任を総会に提案することで、承認可決した。

第4号議案 役員年報酬限度額総額案の承認の件

議長は上記議案につき説明を求めた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、2023年度の役員年報酬限度額総額案においては前回理事会で承認いただいた収支予算書の額を限度として社員総会の承認を得、常勤者については代表理事が理事会の承認を得て決定し、その他の役員については役員報酬規程のとおりとする旨説明を行った。

同議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(川畑理事) 非常勤役員分の報酬については、1回の報酬額×非常勤役員の数×理事会総会の回数ということか。

(石川業務執行理事) 基本はそのとおりであるが、2023年度は役員改選があるため、重任役員、退任役員、新任役員がおり、総会開催日に重複するため、例年より予算を多くとっている。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、役員年報酬限度額総額案を承認した。

報告事項として、以下について報告を行った。

報告第1号 職務執行報告

議長は上記につき報告をさせた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により2023年度の中間報告として、刊行物等発行事業、講習会・シンポジウム等開催事業、受託調査研究事業についての報告を行った。また、例年実施している事業の講習会・シンポジウム等開催事業、海外調査研究事業について、現時点での進捗を説明した。

本報告に関する質疑は、特に提起されなかった。

報告第2号 総合交通体系整備研究積立資金の運用実績

議長は上記につき報告をさせた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により2022年度の総合交通体系整備研究積立資金の運用実績について、個別運用計画に該当する運用は行っていない旨の報告を行った。

本報告に関する質疑は、特に提起されなかった。

その他の事項

2023年度定時社員総会を2023年9月14日（木）14時00分より行い、同日社員総会終了後直ちに2023年度第2回理事会を開催し、代表理事及び業務執行理事選定、代表理事及び業務執行理事の職務分掌、常勤理事年報酬額の承認の件について、審議することを伝えた。

9. 閉会

以上をもって本日のWeb会議システムを用いた2023年度第1回理事会は、通信状態に終始異状はなく、滞りなく議事が終了したので、議長谷口守は、14時40分閉会を宣し解散した。

上記の議事を明確にするため本議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は下記に記名、押印する。

以上

2023年 8 月 28 日

公益社団法人 日本交通計画協会 2023年度 第 1 回理事会

代表理事 谷 口 守



代表理事 石 川 次 男



監 事 曾 田 祐 司



本議事録の作成に関わる職務を行った者の氏名

業務執行理事	石川雅康
事務局参事	柴崎慶一郎
事務局主幹	大溪はつみ

公益社団法人 日本交通計画協会 理事会出欠表

2023年08月28日開催

職名	氏名	出欠	備考
代表理事	谷口 守	出席	議事録署名人
代表理事	石川次男	出席	議事録署名人
業務執行理事	石川雅康	出席	
理事	岸井隆幸	Web出席	
理事	川畑信之	出席	
理事	飯塚義和	出席	
監事	曾田祐司	出席	議事録署名人

